



《将来に向けた取組方針》

スズキは、環境負荷低減や持続可能な資源利用に努める指針「スズキ生物多様性ガイドライン」を制定しています。主な取り組みとして、製品からのCO₂排出量削減や排気ガスのクリーン化、森林保全活動、地域社会と連携・協力した環境美化・保全活動などを行っています。スズキは、美しい自然環境と調和した社会の発展を目指し、スズキの基本方針“小・少・軽・短・美”をスローガンに、環境負荷の少ない事業活動を今後も推進していきます。

〈スズキの取り組み〉

■ 「スズキ・クリーンオーシャンプロジェクト」

～スズキの海洋プラスチックごみ問題への解決に取り組むプロジェクト～



マイクロプラスチック回収装置付き船外機と構造イメージ図

1. クリーンアップ・ザ・ワールドキャンペーン（水辺の清掃活動）
2. 船外機の製品及び補給部品梱包からのプラスチック削減活動
3. スズキが開発した世界初の船外機用マイクロプラスチック回収装置を用いた海洋マイクロプラスチックの回収活動

■ 「スズキの森」 森林保全活動



林野庁天竜森林管理署と「ボランティアの森」協定を結び、2006年から浜松市の「スズキの森」で毎年従業員やその家族による植樹・下草刈り作業、シタケの菌打ち体験等の森林保全活動を行っています。

〈活動実績（2006年3月～2022年3月）〉

・植樹：14回、下草刈り：16回 ・参加者数：約1,500名

〈社会に向けたメッセージ〉 スズキは、社内へ生物多様性に関する理解の浸透に努め、お取引先様や地域社会の方たちともコミュニケーションを図り、自然と共生する持続可能な社会の発展を目指します。